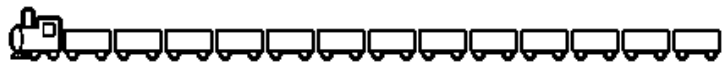


児童のみなさんへ



学習時間の めやす

15分～30分

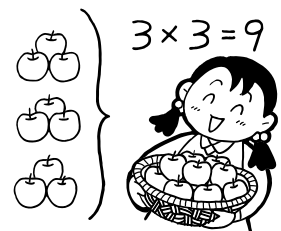
1 かてい学しゅうのしかた

- (1) 国語・さんすうプリント
- (2) かん字ノート・かん字ドリル
かん字ドリルを見て、ノートに下のようにならしましょう。
 - ・わくの中にばんごうをかく。
 - ・下のあいたところには、かけるだけ れんしゅうをします。

- (3) 音どく・九九（九九は2学きからはじまります）

大きな声でしっかり読みましょう。

家の人に聞いてもらって、サインをしてもらいましょう。



- (4) 学校からかし出されたタブレットについて

学校でつかい方を学しゅうして、先生から「家でもつかうといいよ。」と言われたつかい方（学しゅうコンテンツやアプリ）については、家てい学しゅうで、どんどんチャレンジしましょう。（タブレットドリル・文字入力れんしゅう・インターネットでのしらべ学しゅう・NHK for school・ロイロノート・ガレッジバンドなど）

2 こんなことに 気をつけよう

- ★ 家の人とそうだんして、学しゅうするばしょ、学しゅうする時間をきちんときめましょう。
- ★ 「きめた時間、きめたばしょで！」をまもれるようにしましょう。
- ★ しゅくだいがすんだら、すぐにつぎの日にひつようなものをよういして、しゅくだいをわすれずにランドセルに入れましょう。

3 こんなときには？

- ★ しゅくだいプリントなどでわからないことが出てきたら
 - ・まず、じぶんでしらべてみましょう。
 - ・それでもわからないばあいは、おうちの人に聞くか、学校で先生に聞きましょう。
- ★ からだのちょうしがわるくて、しゅくだいができなかつたときは、おうちの人にれんらくちょうで知らせてもらいましょう。



（お休みしているときなどは、むりしないでいいですよ）

2年生の保護者の皆様へ

1 特にくり返しが大切な学習

(1) 国語

2年生の新出漢字は、1年生の倍の160字あります。習った漢字をしっかりと覚え、使えるようにするために、漢字ドリルをノートに写したり、漢字プリントで定着を図ったりすることが大切です。

(2) 算数

くり上がりのあるたし算や、くり下がりのあるひき算をスムーズにするためには、1位数の暗算が大切です。

また、2年生で九九を学習しますが、九九はいくつになっても必要な計算です。暗記するだけでなく、立式の意味をしっかりと捉えさせる必要があります。2学期には、おうちでもお子様が覚えるまでいっしょに聞いてあげてください。

2 こんな宿題が出ています

(1) 本読み

はっきり、ていねいに読む練習をしています。

(2) 宿題プリント（国語・算数）

内容は、1年生の復習も含め、習ったことを忘れないように問題を作っています。

（例：時計、長さ、計算、文章問題）

(3) 漢字練習（主に漢字ドリル）

くり返し練習することにより、定着を図っています。

(4) 九九（九九は2学期から）

九九はこれからの算数の学習に不可欠です。声に出してすらすら言えることが大切です。

(5) その他（くり返し練習することで定着していきます）

視写、なわとびなど

◎ 枚方市から配付されたタブレットについて

担任から家庭学習で使うといいと言われた使い方（学習コンテンツやアプリ）を、お子様の自主的な学習にぜひご活用ください。

3 宿題の○つけやまちがい直しなどについて

(1) プリントは、○をつけ、まちがい直しをして、その後担任が点検をして返しています。

(2) まちがいが多い問題や漢字については、授業の中で改めて復習し、理解を確かなものにするようにしています。

4 お願い

- ★ 宿題をやりきらせるために、がんばったときにはしっかりとほめてあげてください。
- ★ 学習ができる環境づくりにご協力ください（例：テレビを消す等）。
- ★ プリント類は、ご家庭で必ず目を通してください。
- ★ 家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようご協力をお願いいたします。